

令和6年3月31日

氷見市長 林 正之 様

株式会社 北國新聞社
代表取締役社長 砂塚 隆広



氷見市潮風ギャラリーに係る事業報告書の提出について

このことについて、氷見市潮風ギャラリーの管理運営に関する基本協定書第10条の規定に基づき、令和5年度氷見市潮風ギャラリーに係る事業報告書を提出します。



1 管理業務の実施状況

(1) 施設管理業務

① 指定管理者が自ら行う業務の実施状況

別添「令和5年度 氷見市潮風ギャラリー管理業務の実施状況」参照

② 再委託業務の実施状況

再委託業務内容	再委託業者	契約額	実施日時、結果等
機械警備保障業務	(株)ホクタテ	264,000 円	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日
消防用設備等 保守点検業務	東洋防災設備(有)	33,990 円	令和5年7月25日～ 令和6年3月21日
計	2件	297,990 円	

(2) 安全対策の実施状況

別添「令和5年度 氷見市潮風ギャラリー管理業務の実施状況」参照

(3) 利用者からの要望や苦情とその対応状況

組織全体で情報を共有し、迅速かつ適切に対応した。

(4) その他管理の業務の実施状況

別添「令和5年度 氷見市潮風ギャラリー管理業務の実施状況」参照

2 利用状況

別紙1のとおり

3 使用料又は利用に係る料金の収入の実績

別紙2のとおり

4 管理の業務に係る経理の状況

別紙2のとおり

5 その他市長等が必要と認める事項

無し

(別紙1)

令和5年度 氷見市潮風ギャラリー利用状況

月	大人	小人	計(人)	入館料(円)
4	1,357	255	1,612	258,000
5	2,330	533	2,863	453,400
6	905	141	1,046	252,600
7	1,277	284	1,561	249,400
8	2,397	904	3,301	462,400
9	1,405	253	1,658	367,400
10	1,499	271	1,770	363,400
11	1,445	204	1,649	281,800
12	1,005	74	1,079	197,600
1	294	39	333	58,200
2	1,100	139	1,239	214,600
3	1,299	251	1,550	253,600
総計	16,313	3,348	19,661	3,412,400

(別紙2)

令和5年度 指定管理業務事業会計収支決算書

収入

(単位：円)

項目	本年度予算額	収入済額	増減	説明
入館料	2,400,000	3,114,600	714,600	ギャラリー收受分
		297,800	297,800	振込入金分
業務受託料	6,492,000	6,492,000	0	指定管理料
グッズ売上	4,550,000	5,589,707	1,039,707	
雑収入	0	44,180	44,180	指定管理者支援金等
受取利息	0	36	36	
合計	13,442,000	15,538,323	2,096,323	

支出

(単位：円)

項目	本年度予算額	支出済額	増減	説明
グッズ仕入	2,600,000	3,622,523	1,022,523	
人件費	7,956,396	7,727,583	-228,813	派遣職員5名
法定福利費	50,000	0	-50,000	
広告宣伝費	348,114	1,664,000	1,315,886	広告費、協賛金、パンフレット印刷費
事業費	600,000	135,908	-464,092	夏休み企画、キャラクターグリーティング等
外注費	300,000	297,990	-2,010	警備費、防災費
修繕費	100,000	0	-100,000	
消耗品費	300,000	401,217	101,217	チケット印刷費、トイレトペーパー、清掃用品等
水道光熱費	840,000	1,085,420	245,420	
図書・通信費	300,000	471,654	171,654	新聞図書費、電話料金、切手代
雑費	47,490	131,225	83,735	振込手数料、音楽著作権使用料、版權使用料等
合計	13,442,000	15,537,520	2,095,520	

令和5年度 氷見市潮風ギャラリー管理業務の実施状況

<p>管理運営方針</p>	<p>市の重要施策である「まんがを生かしたまちづくり」の拠点施設としての魅力をアピールするとともに、市内各種団体や観光業者等と連携し、利用者の増加によるまちのにぎわいの創出、市の交流人口の拡大につなげる。</p> <p>施設設備・備品を適切に管理し、施設効用の最大限発揮を図りながら、利用者とのコミュニケーションを密にし、市民にも市外からの方にも利用しやすく親しみの持てるギャラリー運営を目指す。</p>										
<p>業務の安全面に関する方針</p>	<p>次の方針を実施し、業務の安全の確保に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理責任者（安全、防火、個人情報管理等）の設置 ・管理運営に関する関係法令等の遵守 ・適切な職員の配置 ・「安全管理（日常の危機の予知・予防）」と「事故対応（事故等の発生時における緊急対応）」体制の構築（職員の研修、職員間のコミュニケーションの向上、事故対応のフロー作成による役割分担・連絡体制の構築の実施等） ・新型コロナウイルス感染症対策として、入場制限、検温、手指消毒の徹底等の対策を行った。 ・業務の安全面に関する市との協議 										
<p>職員配置</p>	<p>職種</p>	<p>実人数</p>	<p>兼職</p>	<p>体制</p>	<p>資格等</p>						
	<p>管理責任者</p>	<p>1人</p>	<p>北國新聞社・佐々木</p>	<p>非常勤</p>	<p>運営管理</p>						
	<p>〃</p>	<p>1人</p>	<p>北國新聞社・荒木</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>						
	<p>事務担当者</p>	<p>1人</p>	<p>事務員・正水</p>	<p>パート</p>	<p>防火管理者</p>						
	<p>受付案内係</p>	<p>4人</p>	<p>浜井、中村、坂本、坂本</p>	<p>パート (交代制)</p>							
<p>年間の事業の実施状況</p>	<table border="1" data-bbox="405 1458 1457 1753"> <thead> <tr> <th data-bbox="405 1458 683 1603">事業名</th> <th data-bbox="687 1458 1297 1603">目的・内容等</th> <th data-bbox="1302 1458 1457 1603">実施時 ・ 回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="405 1610 683 1753">PR推進事業</td> <td data-bbox="687 1610 1297 1753">氷見市のトピックや関連イベントを記事や新聞広告、ラッピング紙面で周知し、来館者の増加と施設周知に努めた。</td> <td data-bbox="1302 1610 1457 1753">随時</td> </tr> </tbody> </table>					事業名	目的・内容等	実施時 ・ 回数	PR推進事業	氷見市のトピックや関連イベントを記事や新聞広告、ラッピング紙面で周知し、来館者の増加と施設周知に努めた。	随時
事業名	目的・内容等	実施時 ・ 回数									
PR推進事業	氷見市のトピックや関連イベントを記事や新聞広告、ラッピング紙面で周知し、来館者の増加と施設周知に努めた。	随時									
<p>自主事業の内容 (財源内訳を含む)</p>	<p>グッズ販売の売上利益の範囲内で実施した。</p>										
<p>サービス向上のための方針</p>	<p>利用者とのきめ細かなコミュニケーションに努め、アンケート調査も実施するなどしてサービスの質の維持向上とニーズの把握を行った。</p>										

利用者等の要望の把握及び実現策	利用者とのきめ細かなコミュニケーションに努め、要望を聞き取るとともに、職員間で共有した。
利用者等のトラブルの未然防止と対処方法	課題への指摘や批判については、市や職員間で情報の共有に努め、迅速に対応策を検討し実施した。
住民との協働及び他施設との連携について	観光ボランティアグループや市と連携し「まんがロード」をはじめとする市内の関連施設の情報提供を充実させた。
個人情報保護のための方策	管理責任者を個人情報管理責任者と定め、「氷見市個人情報保護条例」に基づく「指定管理者が行う公の施設の管理の業務に係る個人情報取扱指針」並びに関係法令等を遵守し、個人情報を適正に管理した。
緊急時の対応について (防犯、防災等)	※別紙「事故対応フローチャート」参照
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の入館者数は 19,661 人となり、前年度の 23,249 人を 3,588 人下回った。前年度は 4 月の藤子不二雄[Ⓐ]先生のご逝去に伴い、追悼の来館者が大幅に増えていたことに加え、今年度は 1 月 1 日に能登半島地震は発生し、1 月の来館者数が前年同月の 3 分の 1 程度にまで落ち込んだ影響もあるが、総計ではコロナ禍前の水準にまで戻すことができた。 ・オリジナルグッズのトートバッグやクリアファイルを制作し、収入増を図った。 ・7 月に至近の距離で開館した富山新聞文化センター氷見教室を会場に「夏休み親子企画」を実施し、アニメの原点「ゾートロップ」づくりを楽しんでもらった ・新型コロナウイルス感染症対策として、定期的な換気や消毒液、検温機器の設置を行い、来館者とスタッフの安全対策を行った。

自主事業実績報告書

1	事業の名称	氷見市潮風ギャラリー 自主事業
2	実施主体	北國新聞社
3	事業期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
4	実施場所	氷見市中央町3番4号 氷見市潮風ギャラリー
5	事業の実施状況	<p>①富山新聞創刊100年を記念した「アニメEXPO」に合わせて、ラッピング紙面を製作し、大々的に潮風ギャラリーや藤子不二雄[Ⓐ]先生、氷見市のまんがを生かしたまちづくりを紹介した</p> <p>②北國・富山新聞の関連会社である「ラジオたかおか」の生放送番組で、潮風ギャラリーの新設コーナーをはじめ、氷見市のイベントを紹介した</p> <p>③七夕企画として、4大キャラクターとひみぼうずくんが描かれた短冊を製作し、入館者が願い事を書き、ササに飾り付けた。</p> <p>④8月6日に夏休み親子企画として「ゾートロップ」づくり教室を開催した</p> <p>⑤5月4日～5日と10月28日にキャラクターグリーティングを実施した</p> <p>⑥オリジナルのトートバッグ、クリアファイルの製作に取り組んだ</p> <p>⑦北國・富山新聞に広告を掲載し、ギャラリーのPRに努めた。</p>
6	事業の成果・効果	<p>来館者数はコロナ禍前の水準に戻っており、国内外の多くの人に、藤子[Ⓐ]先生の作品の世界観を紹介し、キャラクターの魅力発信と、氷見市中心部のにぎわい創出につなげた</p>
7	反省点や今後の課題	<p>より一層の入館者増を図るため、次の取組みを実施する。</p> <p>①広報、PRの更なる強化に努める。</p> <p>②各観光施設や宿泊施設との連携を強化していく。</p> <p>③入館者がキャラクターとふれあえる機会を提供する。</p>

1 自主事業内容

事業内容	摘要	実施期間
①各種グッズの販売	藤子不二雄 [Ⓐ] 先生に関するグッズの販売	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日
②新聞広告の掲載	北國・富山新聞の朝刊に 広告を掲載	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日
③ラジオたかおかでのPR	関連会社であるラジオたかおかの生放送番組で、潮風ギャラリーに新設された「BAR 魔の巣」をはじめ氷見市のイベントを紹介	令和5年8月4日
④キャラクターグリーティングの実施	入館者が「忍者ハットリくん」や「怪物くん」と記念撮影	令和5年5月4日 ～5日 令和5年10月28日
⑤七夕企画の実施	4大キャラクターとひみぼうずくんが描かれた短冊に入館者が願い事を記す	令和5年6月26日 ～7月7日
⑥夏休み親子企画の実施	富山新聞文化センター氷見教室を会場に、アニメの原点である「ゾートロープ」づくり教室を実施	令和5年8月6日